

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	251	学校名	仙台市立鶴が丘中学校	校長名	石川 一博
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「SDGsについて学び, 地域・未来のために考え, 実践する」



2 取組の紹介

○学年ごとのSDGsを視野に入れた取組

1 学年：校外学習（モリウミアスでの活動, 震災学習）

2 学年：総合的な学習の時間「SDGsについて調べて発表しよう」

3 学年：修学旅行（関東方面でSDGsの実践探し）

理科「自然環境の保全のために, 科学的根拠をもとに考えよう」

○生徒会を中心としたボランティア活動「つる坊ランティア」

11月22日（火） 地域の落ち葉拾い

○学年ごとのSDGsを視野に入れた取組

1 学年では, 校外学習でモリウミアスに行き, 「循環」をテーマにした活動をとおして, SDGs について学習しました。また, 震災学習をとおして, 東日本大震災の教訓を次世代に語り継ぎ, 復興に向けて自分ができることについて考えました。

2 学年では, 総合的な学習の時間に, 「SDGs について調べて発表しよう」と題して, SDGs について一人二つの目標について詳しく調べ, 学級や学年で発表会を実施しました。

3 学年では, 修学旅行で, 関東方面における SDGs 実践探しを実施しました。修学旅行で訪れた栃木県日光地方, 東京ディズニーランド, 東京（お台場や浅草方面）で, SDGs に関する取組を見つけて, 新聞にまとめました。また, 理科の授業では, 「自然環境の保全のために, 科学的根拠をもとに考えよう」と題して, 外来生物の問題について考えました。外来生物の侵入によって生物種の減少が深刻化してきている今, 「外来生物の駆除を積極的に実施すべきか」について学級内で議論し, 様々な意見に触れながら, 自然環境の保全に向けての意識を高めました。

【1学年:校外学習】



【2学年:SDGs発表会】



【3学年:理科】



○生徒会を中心としたボランティア活動

鶴が丘中学校では, 地域交流活動の一環として, 学区内の落ち葉拾いをとおして, 自分たちの住む地域の美化活動を行っています。活動の際には, 生徒会執行部を中心にボランティアを募り, 「つる坊ランティアチーム」を結成しました。今年も, 新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 地域の方々と一緒に活動することはできませんでしたが, 自分たちの住む地域のため, 自分たちの通学路の安全のために活動することができました。



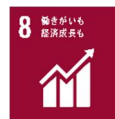
3 取組の成果

学年ごとに, SDGs を視野に入れて環境について学び, 考える活動を行ったことで, 生徒の環境に対する意識や関心が高まり, 自分たちにできることを考えることができました。また, 「つる坊ランティア」活動は, 生徒会執行部を中心に生徒の自主的な活動として定着してきました。これらの活動により, 中学生が地域を活性化させる力があることを実感してきたように思います。地域の方々に支えていただいている中学生ですが, 地域の方々に恩返ししながら地域を支える経験が中学生の成長に確実につながっています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	252	学校名	仙台市立寺岡中学校	校長名	佐々木 宏
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 専門委員会による古紙回収、花の植え付けと管理、福祉活動



2 取組の紹介

・日常の取組

- ① 各教室にゴミ箱を2つ設置し、燃えるゴミとプラゴミで分別しています。
- ② 移動教室等で教室を使用しないときには、消灯することで節電に努めています。
- ③ 冬期は加湿器の残り湯を清掃時に使用することで、節水しつつ快適な雑巾掛けができています。

・各委員会の取組



① 美化緑化委員会

1学期と2学期に1回ずつ敷地内の花壇に花植え活動を行いました。担当クラスの区間にクラス表示をし、翌日に学級で呼び掛けしたことで、多くの生徒たちが関心を持ち、花壇を覗き込む様子も見られました。水やりも委員会を中心に毎日行い、長期休暇中は部活動単位で当番を分担して取り組みました。

②福祉・ボランティア委員会

年間をととして学校全体で古紙回収を行っています。紙ゴミはただゴミ箱へ捨てるのではなく、各学級に備え付けの「古紙回収BOX」へ入れるなど、積極的な取組が見られました。今年度は資源ゴミのルールにも変更があり、印刷物の種類によって2種類に分けて回収しています。各月の委員会活動で氏名など個人情報が入っている用紙を省き、まとめています。また、ウクライナ紛争で被害を受けた地域を意識して、UNICEFへの募金活動や、ベルマーク回収を地域と合同で行いました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

・花植え、水やり活動

長期休暇中に部活動も水やりに参加したことで、学校全体で美化に対する意識を高めることができました。また、植えた花をきれいに保とうと呼び掛けをするなど命あるものを大切にする態度を養うことができました。

・古紙回収

各学級で余った紙類を仕分けて回収することで、生徒一人一人が資源を大切にしていこうとする態度を養われました。

・募金活動、ベルマーク回収

被災した国や地域や困っている人への優しさや自分の身の回りにある環境資源に目を向けることで、環境問題に対する関心を高めることができました。

今年度は昨年度と比べて、古紙を色分けにして回収したり、花を植える場所を増やし、多くの生徒が四季の変化を感じられるようにしたり、コロナ禍の中でも、学校としてできることを増やしてきました。古紙回収や緑化活動をととして、環境問題やリサイクルに対する意識を高めるとともに、学校を整備する用務員の方々との交流も図ることができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	257	学校名	仙台市立茂庭台中学校	校長名	菊地 淳
------	-----	-----	------------	-----	------

1 取組のテーマ 「身近なところから取り組む環境教育」



2 取組の紹介

(1) ペットボトルキャップ回収活動

生徒会執行部が、数年前からリサイクルの促進や売却益による発展途上国へのワクチンを送る目的でペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。毎月1回、クラスごとに回収箱を設置し、回収を行っています。家庭や地域の方々にも協力をいただき、今年度の12月までには約65kgのペットボトルキャップを回収して寄付することができました。約860個で一人分のポリオワクチンを送ることができることや手軽に集めることができることから、生徒たちも意欲的に取り組んでいます。生徒だけでなく教職員も意欲的に取り組んでいます。

学年	11月	12月	1月	2月	合計
1-1	187	253	169		
2-1	467	195	997		
2-2	511	137	61		
3-1	208	305	90		
3-2	215	0	0		
11月計	29	0	41		
12月計	1617	810	780		

(2) 地域清掃

生徒会執行部、環境委員会が中心となり、地域清掃に取り組んでいます。朝に学校を出発し、地域の方と挨拶をとおして地域交流を図りながら地域に落ちているゴミを拾っています。徐々にボランティアとして参加する生徒も増え、奉仕の精神も育まれています。



(3) ゴミの分別活動

仙台市のゴミ分別収集方針を受け、各教室、職員室を含め普通ゴミとプラスチックゴミを分別して回収しています。ポスター掲示をとおしてゴミの分別活動の大切さを伝える活動にも取り組んでいます。



3 取組の成果

本校では「身近なところから取り組む環境教育」というテーマで環境美化活動やリサイクル活動に取り組んでいます。これらの活動をとおして、生徒の身の回りの環境美化に対する意識がより高まってきています。生徒のSDGsに対する関心も高まってきており、「シャワーを浴びるときに節水してみよう。」「家でもできることは何かあるかな。」などの声も聞かれるようになりました。学校内にとどまらず、家庭でもできる環境活動を自ら考えられるようになってきています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	254	学校名	仙台市立長命ヶ丘中学校	校長名	菅原 徹
------	-----	-----	-------------	-----	------

1 テーマ「SDGs に対する興味・関心を高め、主体的に行動できる資質・能力を育成する。」



2 取組の紹介

① 地域清掃活動

地域の方と共同で学区内の落ち葉掃きを行いました。部活動ごとに担当の地区に分かれて、2時間程度の清掃活動でした。落ち葉でいっぱいだった歩道は、清掃活動終了後きれいになりました。



有志による活動でしたが、多くの生徒が参加し、地域の一員であるという自覚も芽生える活動でした。当日参加できなかった野球部の生徒たちからは「自分たちも行いたい」と要望があり、別日に活動を行いました。地域の方からの新聞への投書もあり、自分たちの自主性が地域に感謝されていることを特に感じた活動でした。



② ペーパーレスを取り入れた授業, アンケート

資料やワークシートなどのプリントの配付を Chromebook でのデータでの送信にしたり、教科での宿題の解答を送信したりしています。また、アンケートや学年だより、学校からの配付物の大半をペーパーレスとしました。

③ 廃棄品の再利用

古い消火栓で使われていた廃棄予定のホースを、形を整え、紙押さえのための文鎮に作り替えて利用しています。

ほかにもロール紙の芯材を畑の畝を作る整地用の道具にするなど、廃棄予定のものを別の用途で利用することで、ごみの削減を心掛けています。



3 取組の成果 (まとめ)

地域清掃活動では、多くの生徒が地域の方々と活動することで、奉仕活動や緑化活動に対する意識の高まりにつながりました。また、自分たちで、住む街をきれいにできたという達成感を感じることができました。野球部の活動は新聞にも取り上げていただき、特に意識の向上につながりました。

生徒だけでなく、職員も一丸となって環境に対する活動を行っており、様々な活動が自分でできる環境に配慮した行動につながっています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	255	学校名	仙台市立富沢中学校	校長名	清野 俊也
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 テーマ

積極的な環境の維持と向上，資源節約を目標に全教育活動を通して実践していく

2 取組の紹介

(1) 全校での取組

① 節電

移動教室などの時には，エアコンや消灯などの節電を呼び掛け，こまめに電源を消す努力を継続しています。

② 古紙回収

学級で古紙回収を呼び掛け，収集しています。

③ プラゴミ回収

一般ゴミとプラスチックゴミを分けて，分別収集しています。

④ 新策川清掃（地域連携）

全校に呼び掛け，ボランティア生徒を募り，学区内にある新策川河川付近の清掃を行いました。暑い中ではありましたが，年2回行っています。地域の一員として地域に貢献できて良かったです。

⑤ 花いっぱい推進運動（地域連携）

学級代表の生徒や保護者ボランティア，秋は小学生（代表）も一緒に行いました。プランターに花を植え，そのプランターを学区内の町内会，近隣小学校や交番などに届けました。地域とのつながりを築くことができました。

(2) 委員会活動

① エコ・ボランティア推進委員会

節電・古紙回収の呼び掛けを中心に行いました。特に古紙回収に関しては，環境についての意識付けができました。

② 環境委員会

常に校内の美化活動に努めました。年に2回，校内の花壇の「花の植え替え」を行い，水かけ当番を作り，手入れや管理を行いました。

年2回の校舎内のワックス掛けや週一に行う清掃ロッカーの清掃や点検活動を地道に行いました。そのおかげで校舎内の美化が保たれました。

3 取組の成果

今年度，新たに何かを始めたことはありませんが，昨年同様，コロナ対策をしながら生徒主体でできる活動を中心に行いました。ボランティアを募ると大勢の生徒が希望して来たり，諸活動にコツコツと真面目に取り組んだり，意欲的に参加しました。昨年よりワックスを掛けた場所が増えたのをきっかけに，以前より活動の幅を広げて，より活発な取組ができるようになると良いです。



花の植えかえ（環境委員会）



花いっぱい推進運動（地域連携）



新策川清掃（地域連携）



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	256	学校名	仙台市立南中山中学校	校長名	岩倉 一治
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

体験的な活動を通して、自然環境や環境問題について考えよう



2 取組の紹介

(1)小中連携プロジェクト「ど根性ひまわり」

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市南浜町で、がれきの中育った1本のひまわりを地域の人々は「ど根性ひまわり」と名付けました。本校ではその種を譲り受け、小学校とも協力し、何年もかけてこの地域をひまわりとともに笑顔であふれる地域にしたいと考えました。今年度は特別支援学級の生徒と一緒にひまわりの種を植え、夏には立派なひまわりに成長しました。また、9月には種の収穫も行い、年度末に児童生徒及び地域の方々への配付を予定しています。種を入れる封筒のデザインについても、生徒にイラストを募集しました。



↑「ど根性ひまわり」のポスター

↓生徒に募集したイラストデザイン



↓種を植えている様子



(2)リサイクル活動

①古紙回収

整美委員会の活動の一環として、各教室にリサイクルボックスを設置し、2ヶ月に1回整美委員が回収しています。片面だけ使用している紙は、職員室で更に分別し、裏紙を積極的に活用するようにしました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

(1)生徒が主体的に活動を行う中で、生命の尊さについて学んでいました。

(2)自然の大切さを学び、学校生活の中で資源の有効活用について実際に体験する経験をとおして、生徒が主体的に自身の生活に生かそうとする態度を育てることができました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	257	学校名	仙台市立茂庭台中学校	校長名	菊地 淳
------	-----	-----	------------	-----	------

1 取組のテーマ 「身近なところから取り組む環境教育」



2 取組の紹介

(1) ペットボトルキャップ回収活動

生徒会執行部が、数年前からリサイクルの促進や売却益による発展途上国へのワクチンを送る目的でペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。毎月1回、クラスごとに回収箱を設置し、回収を行っています。家庭や地域の方々にも協力をいただき、今年度の12月までには約65kgのペットボトルキャップを回収して寄付することができました。約860個で一人分のポリオワクチンを送ることができることや手軽に集めることができることから、生徒たちも意欲的に取り組んでいます。生徒だけでなく教職員も意欲的に取り組んでいます。

学年	11月	12月	1月	2月	合計
1-1	187	253	169		
2-1	467	195	997		
2-2	511	137	648		
3-1	208	305	513		
3-2	215	0	0		
合計	29	0	91		
月合計	1617	810	780		

(2) 地域清掃

生徒会執行部、環境委員会が中心となり、地域清掃に取り組んでいます。朝に学校を出発し、地域の方と挨拶を通して地域交流を図りながら地域に落ちているゴミを拾っています。徐々にボランティアとして参加する生徒も増え、奉仕の精神も育まれています。



(3) ゴミの分別活動

仙台市のゴミ分別収集方針を受け、各教室、職員室を含め普通ゴミとプラスチックゴミを分別して回収しています。ポスター掲示をとおしてゴミの分別活動の大切さを伝える活動にも取り組んでいます。



3 取組の成果

本校では「身近なところから取り組む環境教育」というテーマで環境美化活動やリサイクル活動に取り組んでいます。これらの活動をとおして、生徒の身の回りの環境美化に対する意識がより高まっています。特にペットボトルキャップ回収活動では、生徒会執行部や環境委員だけでなく自主的に「明日はキャップを持ってこよう」と呼び掛けをしている生徒も出てきています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	258	学校名	仙台市立高森中学校	校長名	森 和子
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

「10周年の森」

～花壇作りを通して、自然界の仕組みやエコ活動について学ぶ～



「10周年の森」の様子



「10周年の森」講話



土作り



花植え



ぼかし肥料作り

2 取組の紹介

本校では PTA や地域ボランティアの支援を受けながら、肥料作り、腐葉土作り、エコ清流作り、花植えを行いました。1学年は10周年の森が作られた背景や過去の取組についての講話を聞き、腐葉土作り、ぼかし肥料作りを行い、2学年と3学年は10周年の森の整備と土作り、花植えを行いました。

捨てられる資源をリサイクルし、有用微生物群によって分解されたエコ清流を土作りに活用して植物を育てることで循環型社会や生態系の分解者の役割を学ぶ機会となっています。

(1) 「10周年の森」の活動期日

「10周年の森」の講話(1年生)	(5月)
整備・花植え(3年生)	(6月)
土作り(2年生)	(10月)
花の小川コンクール(花植えの原画)	(10月)
エコ清流・花植え(2年生)	(11月)
ぼかし肥料作り(1年生)	(11月)

(2) 「10周年の森」講話

1年生を対象に、どのような経緯で10周年の森が作られたのか、どのような活動をして10周年の森を維持しているのかという講話が実施されました。また、講話を通して、10周年の森とはどのような場所か、どのような活動を行うのか学び、活動の見通しを持つことにつながりました。

(3) エコ清流作り

米のとぎ汁などを集めて、その中に有用微生物群を混ぜて分解させます。混ぜた液体をペットボトルに入れて、数か月放置をして分解させます。分解を促すために、生徒は休み時間にペットボトルの蓋を開けて空気を抜いていくという取組を行いました。

(4) ぼかし肥料作り

1学年を対象に行い、米ぬかと作成したエコ清流を混ぜて、ぼかし肥料作りを行いました。このぼかし肥料は腐葉土に混ぜて、植物の成長に役立ちます。

(5) 土作り・整備・花植え

学校で集めた落ち葉で腐葉土を作製し、その腐葉土を「10周年の森」にまきます。また土を耕した後、レイアウト図に沿って花を植えていきます。レイアウト図は例年、生徒が花壇のデザインを考え、10月に校内で行われる「花の小川コンクール」で最優秀作品に選ばれた作品が、次年度の花壇のレイアウトのもとになります。

3 取組の成果

3年間を通じて、総合的な学習の時間で取り組んでいる「10周年の森」の活動の中で、米ぬかやエコ清流が肥料や土作りに使用できるということに驚いたという感想を持つ生徒が見受けられました。また活動をとおして、「10周年の森」が学校のシンボルとなっているので大切にしていきたいという感想もありました。

活動と各教科の学習内容を合わせることで、循環型社会や生態系の理解への一助になると思います。この「10周年の森」の作業は地域の方や保護者、生徒、教職員の交流の場にもなっています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	259	学校名	仙台市立田子中学校	校長名	大内 聡
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

「自分にできることから少しずつ」



2 取組の紹介

① 梅田川清掃

7月25日に、毎年恒例になっている、学区内の梅田川を清掃しました。茂みをかき分け、たくさんのプラスチック製品を拾い集めました。地域の方々と一緒に行うので、梅田川の生態系を守るだけでなく、地域とのつながりが再確認できました。

② コンタクトレンズ容器の回収

コンタクトのアイシティが行っているエコ・プロジェクトに賛同し、夏にコンタクトレンズ容器の回収箱を設置しました。導入したばかりで回収された容器はまだ少ないですが、コンタクトレンズを使用している生徒も多いので、広く周知をしていきたいと思います。集めた容器は日本アイバンク協会へ寄付され、視覚障害の方々への支援に使われます。

③ 地域防災避難訓練

11月13日に各地区に分かれて、町内会の皆さんと地域防災避難訓練を行いました。地区ごとに消化器や車いすの使い方、負傷者の運び方などを学びました。実際に愛知県から支援物資が届いたり、消防の方と連携を図ったり、より災害時に近い訓練をした地区もありました。この訓練をとおしていざという時に地域のために自分ができることがあるのだと気づき、防災・減災への意識を高めているようでした。



3 取組の成果

生徒たちの間にも SDGs が根付いてきているようです。例えば、給食の残飯が0だった時は「SDGs が少しは達成されるのでは？」との声が聞こえてきたり、野外活動のスローガンの文字の色を SDGs の17のゴールの色にしたり、自発的に取り組む様子が見られました。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	260	学校名	仙台市立住吉台中学校	校長名	大沼 良介
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

ボランティア活動を通じた「エコ・スクール活動」



2 取組の紹介

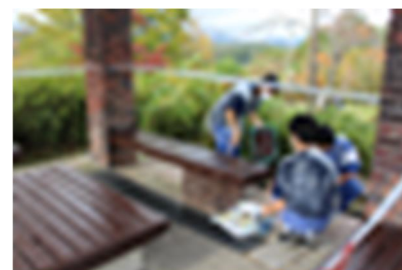
① ペンキ塗りボランティア

生活向上委員会が中心となり、町内にある公園の内のうち2か所において遊具やベンチのペンキ塗りを行っています。ペンキ塗りを行う公園は、休みの日には中学生がよく訪れている場所になるため、参加した生徒はペンキ塗りを楽しみながらも、自分たちが普段使っているものを大切にしていこうという気持ちを持つことが生まれています。また、自分たちが住んでいる地域の環境を整備する活動をとおして、「住み続けられるまちづくり」を体験的に学ぶことができました。



② 書き損じはがきの回収

生活向上委員会が中心となって、書き損じはがきの回収を行いました。回収期間中、委員会の生徒が昇降口に立ち、協力の呼び掛けを行いました。また、昼の放送を利用して、委員長から書き損じはがきの使い道や回収の意義などについて説明を行いました。全校生徒が160人ほどの小さい学校ではありますが、60枚近くの書き損じはがきを集めることができました。生徒は書き損じはがきを回収する意図を説明されることで、最後までものを大切に使うこと学ぶことができます。



3 取組の成果

昨年度まで、コロナウイルスの影響で自粛していたボランティア活動も、徐々に再開することができるようになってきました。今年度の活動を通じて、日々の生活の中で物を大切にしようとする生徒が増えてきました。今後も生徒の主体性を大切にしながら、校舎内だけでなく、地域と関わりながら環境を守るための活動を行っていきたいと思います。